



IBM Software Group

# Lotus Notes/Domino 移行時にフル活用！

～ Hint&Tips集と役立つ移行支援ツール群のご紹介～

(Lotus Notes/Domino 8.5 移行対応版)

2009年6月

日本アイ・ビー・エム株式会社

**Lotus** software

## 特記事項

- 本資料の記載内容は、正式な IBM のテストやレビューを受けておりません。内容について、できる限り正確を期すよう努めてはおりますが、いかなる明示または暗黙の保証も責任も負いかねます。本資料の情報は、使用先の責任において使用されるべきものであることを、あらかじめご了承ください。
- 掲載情報は不定期に変更されることもあります。他のメディア等に無断で転載する事をご遠慮ください。
- 本資料の著作権は日本アイ・ビー・エムにあります。非営利目的の個人利用の場合において、自由に使用してもかまいませんが、営利目的の使用は禁止させていただきます。
- IBM, Lotus は、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標。

その他、記載された社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

# Agenda

1. はじめに
2. アプリケーション移行を支援するツール群
3. カンタン移行判定ツール
4. 移行チェックツール(NDACC)と移行 Hint & Tips 集
5. ツール群の入手方法

(参考)事例ご紹介

(参考)バージョン別の非互換情報件数



IBM Software Group

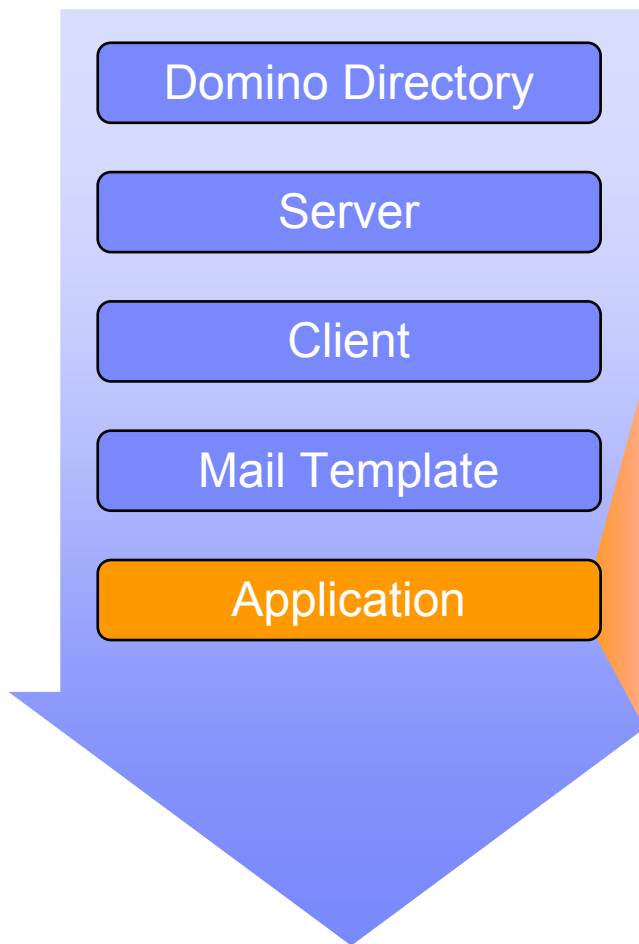
# 1. はじめに

**Lotus** software

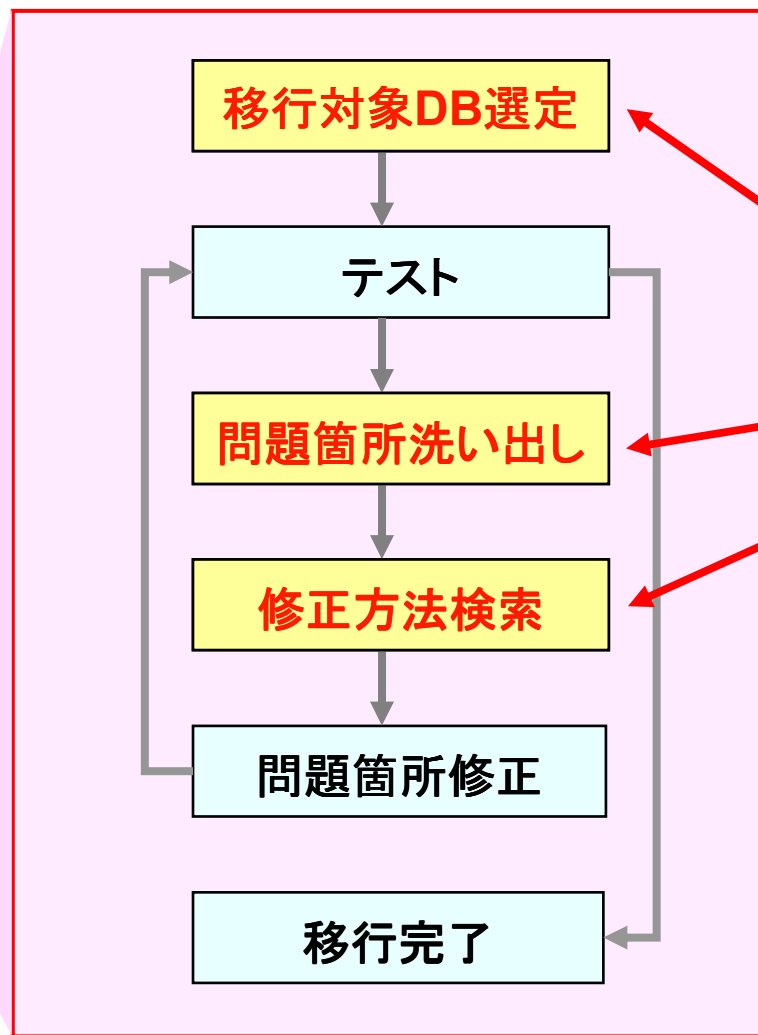


# 1. はじめに

## 【移行の全体的な手順】



## 【アプリケーション移行の手順】



場合によっては、  
作業負荷が大きくなる



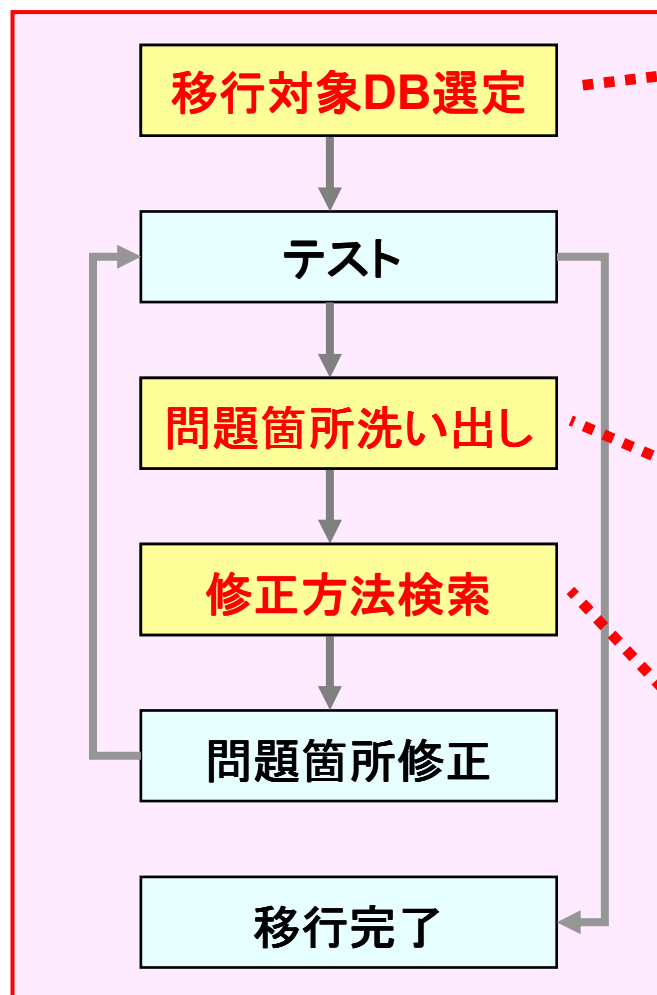
IBM Software Group

## 2. アプリケーション移行を支援するツール群

**Lotus** software

## 2. アプリケーション移行を支援するツール群

アプリケーションの移行をスムーズに行なうための支援ツール群をご提供いたします



### ■ カンタン移行判定ツール

- 移行対象候補のデータベースの設計と比較基準テンプレートの設計とがどの程度異なるかをチェックします。また、設計要素の数やサイズから、『データベースの複雑度』を判定します。これらの結果は、移行が容易なDBを洗い出したり、大よその移行作業量を判断するのに役立ちます。
- 各DBを使用頻度順に表示するビューなどにより、移行対象DBの選定作業を支援します。

### ■ 移行チェックツール

Lotus Notes/Domino Application Code Checker = NDACC

- 移行対象DBの設計情報をチェックし、移行の際に修正が必要となる箇所を自動的に洗い出します。

### ■ 移行 Hint&Tips 集

Lotus Notes/Domino アプリケーション移行 Hint & Tips 集

- アプリケーション移行の際の考慮点や注意事項（仕様の差異情報、障害情報、回避策など）を提供します。



IBM Software Group

## 3. カンタン移行判定ツール

**Lotus** software

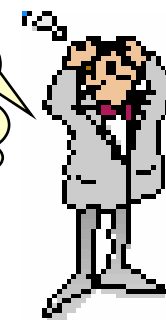
## 3-1. Notes/Dominoアプリケーションを移行する際の悩み

アプリケーション移行にかかるワークロードがどれくらいなのか、まずはざっくり知りたいのだけどどうすればいいのだろうか？

我が社で使っている DB は基本的にほとんど、「ディスカッション」テンプレートの設計そのままか、せいぜいビューをいくつか追加している程度だが、移行って大変なんだろうか？

あまり使われていない DB で移行にワークがかかるものは、この際処分したいが...

あちこちの部門で、似たような設計だけどちよつとずつ違うアプリケーションを使っていて、どれがどれだかきちんと管理されていない。  
このままだと各 DB ごとにテスト・修正をすることになり、移行作業が無駄に重複してしまう...



**カンタン移行判定ツールがご支援します！**

## 3-2. カンタン移行判定ツールの目的

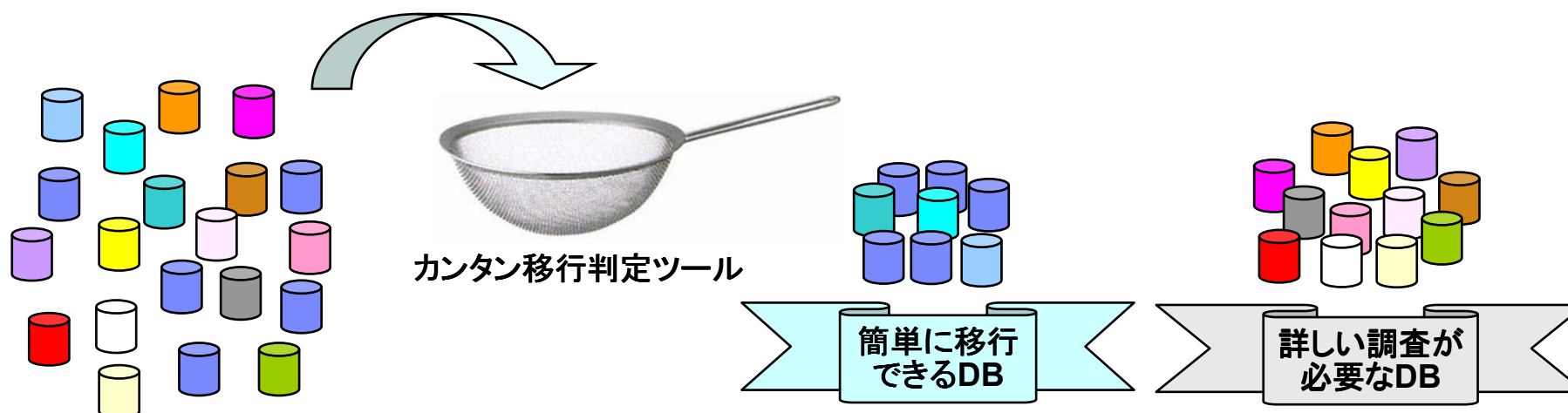
Lotus Notes/Domino 同梱の「ディスカッション」や「文書ライブラリ」といった標準Notesテンプレートは、新バージョン用テンプレートが提供されています

例：6.x 用の「ディスカッション(6)」⇒ 8.x 用の「ディスカッション(8)」

上記のような標準テンプレートから作成されたデータベースは、新バージョン用テンプレートで設計を置換することで、簡単に移行できます



まずは、このような“簡単に移行できるDB”を振り分けましょう！





IBM Software Group

## 3-3. カンタン移行判定ツールの機能

**Lotus** software

## 3-3. カンタン移行判定ツールの機能

1. 簡単に移行できるDBの振るい分けを支援
  1. 比較基準テンプレートと、各DBの設計比較
2. 移行対象とするDBの選定作業を支援
  1. データベースの複雑度判定
  2. 「使用頻度別」ビュー
3. 移行作業を支援
  1. 移行作業の進捗ステータス管理
  2. 「設計を引き継ぐ」プロパティの設定
  3. NDACC への連携
4. その他(参考)
  1. 作業の流れに従って設計された、わかりやすいナビゲータ
  2. 充実したオンラインマニュアル



IBM Software Group

3-3-1.

簡単に移行できるDBの振り分けを支援

Lotus software



# 1. 比較基準テンプレートと、各DBの設計比較 -1-

- 比較基準テンプレートの設計と、各 Lotus Notes データベースの設計とを比較し、差異のレベルを下記3種類に判別
  - ▶ 「一致する」
    - ⇒新バージョン用標準テンプレートで設計置換する
  - ▶ 「類似する」
    - ⇒標準テンプレートとの設計の差異部分の動作確認テストを行う
    - ⇒How? (次頁)
  - ▶ 「不一致」
    - ⇒移行対象とするかどうかの選定や移行作業量の見積り、移行作業箇所の特定を行う
    - ⇒How? (後述3-3-2,4)

※ 移行前のR5 ~ 8.0 の標準テンプレートの情報は、あらかじめツールに内蔵済み

DB名 ◇	分析結果 ◇	一致	類似	不一致
DB ライブラリ	●	✓		
MS Office ライブラリ R5.0	●	✓		
チームルーム R5.0	●	✓		
ディスカッション R5.0	●	✓		
会議室予約 R5.0	●	✓		
BI製品品質管理	●		✓	
資料保管箱	●		✓	
資料保管箱	●		✓	
資料保管箱	●		✓	
DB2&FlashCopy対策室Q&A DB	●			✓
デモ用メールファイル	●			✓
マーケティングフォーラム	●			✓
営業部ディスカッション	●			✓
会議室予約	●			✓
顧客情報2005	●			✓
全社掲示板	●			✓
第一期プロジェクト会議室	●			✓

## 1. 比較基準テンプレートと、各DBの設計比較 -2-

- フォーム/ビュー/エージェントなどのDB内の各設計要素ごとの比較も可能
  - ▶ 「類似する」DBに関して、動作確認テストの必要がある設計要素(差異部分)を特定可能
  - ⇒ 移行作業の効率化
  - ⇒ おおよその移行作業工数の見積もりの割り出し

総合判定	DB名	名前	対応
	▼ 資料保管箱		
	ナビゲータ	【メイン ナビゲータ】	✓
	ビュー	【(\$Librarians)】	✓
	ビュー	【(\$RepID)】	⊕
	ビュー	【カテゴリー別】	✓
	ビュー	【データベース名別(T) De】	●
	ビュー	【登録者リスト Libraria】	✓
	フォーム	【データベース エントリ】	✓
	フォーム	【登録者リスト】	✓
	▶ DB ライブラリ		
	▶ デイスカッション R5.0		
	▶ MS Office ライブラリ R5.0		

# 1. 比較基準テンプレートと、各DBの設計比較 -3-

## ■ その他、設計比較の特徴

### ▶ 総あたり比較

- 比較基準テンプレート集(複数のテンプレートを登録可)と、比較対象データベース(複数のDBを指定可)とを総あたりで比較
- 目的のDBが、どのテンプレートから作成されたものかを事前に知っている必要なし

※一度にあまり多くのテンプレートとDBを比較させると、場合によっては、処理の完了までに時間がかかることがあります

### ▶ 設計要素の「名前」と「サイズ」による比較

※@関数／スクリプトのロジックなど、設計内容の比較は行ないません

- ▶ 「あいまい(類似)判定をする／しない」、「あいまい判定の基準値」を自由に設定可能
- ▶ 自社開発アプリケーションやパッケージ製品など独自のテンプレートを、比較基準テンプレートとして自由に登録可能





IBM Software Group

3-3-2.

## 移行対象とするDBの選定作業を支援

**Lotus** software



## 1. データベースの複雑度判定

- DBの設計要素の数とサイズにより、複雑度「高」／「中」／「低」のいずれかに判定
  - 複雑度の判定基準(しきい値)は自由に設定可能

*複雑度判定基準	?	推奨値を設定
フォーム数 (高)	?	『80』
フォーム数 (中)	?	『40』
サブフォーム数 (高)	?	『40』
サブフォーム数 (中)	?	『20』
ビュー数 (高)	?	『40』
ビュー数 (中)	?	『20』
全スクリプトライブラリサイズ (高)	?	『500000』 Byte
全スクリプトライブラリサイズ (中)	?	『100000』 Byte
全エージェントサイズ (高)	?	『120000』 Byte
全エージェントサイズ (中)	?	『80000』 Byte

## 2. 「使用頻度別」ビュー

- DBの使用頻度と、DBの設計類似度、設計複雑度とを組合わせて表示

※DBのプロパティで、ユーザーの使用状況のアクセスの記録を有効にしているDBが対象

使用頻度(月)◇	DB名◇	名前◇	サイズ◇	複雑度
▶ 2/月				
▼ 1/月				
	▼ 会議室予約			高
	アウトライン	【Main】	●	●
	エージェント	【(DeletePendingI	●	●
	エージェント	【(wAppointmentO	●	●
	エージェント	【(wAppointmentS	●	●
	エージェント	【アップグレード U	●	●
	エージェント	【文書削除(自動) P	●	●
	サブフォーム	【(ChangeRepeat)	●	●
	サブフォーム	【(RepeatForm)】	●	●
	サブフォーム	【(RepeatOpenLis	●	●
	サブフォーム	【(wCSItems)】	●	●
	サブフォーム	【(wResWebItems)】	●	●
	スクリプトライブラリ	【Common】	●	●
	スクリプトライブラリ	【CSEventI	●	●
	スクリプトライブラリ	【CSUIDocI	●	●
	スクリプトライブラリ	【CSUIVie	●	●
	スクリプトライブラリ	【CSWeb】	●	●
	スクリプトライブラリ	【Reserva	●	●

移行に手間がかかりそうだが、あまり利用されていないDBの判別  
⇒「処分」等の判断基準



IBM Software Group

## 3-3-3. 移行作業を支援

**Lotus** software



## 4. 移行作業の進捗ステータス管理

- 各DB ごとに、移行作業の進捗状況を管理可能
  - ▶ 進捗ステータスは自由に設定可能  
(例)「情シス部判断待ち」、「〇〇さんレビュー中」など

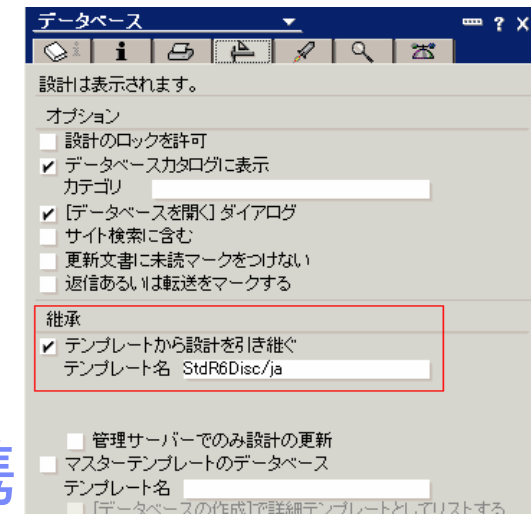
移行作業状況	分析済	DB名
▶ 移行チェック済み		
▼ 移行チェック中		
	◆	営業フォーラム
	◆	マーケティングの会議室
	◆	本社掲示板
	◆	人事資料室
▶ 移行対象外		
▶ 動作確認テスト完了		

ステータス項目登録	
登録ステータス	『未設定 移行チェック中 移行チェック済み 移行対象外 移行済み 動作確認テスト完了』

## 5. 「設計を引き継ぐ」プロパティの設定

- ツールから、DB プロパティの [設計を引き継ぐテンプレート名] にテンプレート名を設定

⇒サーバー上で Designer タスクが実行されると、DB の設計がテンプレートの設計に置換される



## 6. 移行チェックツール(NDACC)への連携

- より詳細な設計分析をしたいDBについては、当該ツールで取り込んだ情報を移行チェックツール(NDACC)にエクスポート



| IBM Software Group

## 3-3-4. その他（参考）

**Lotus** software

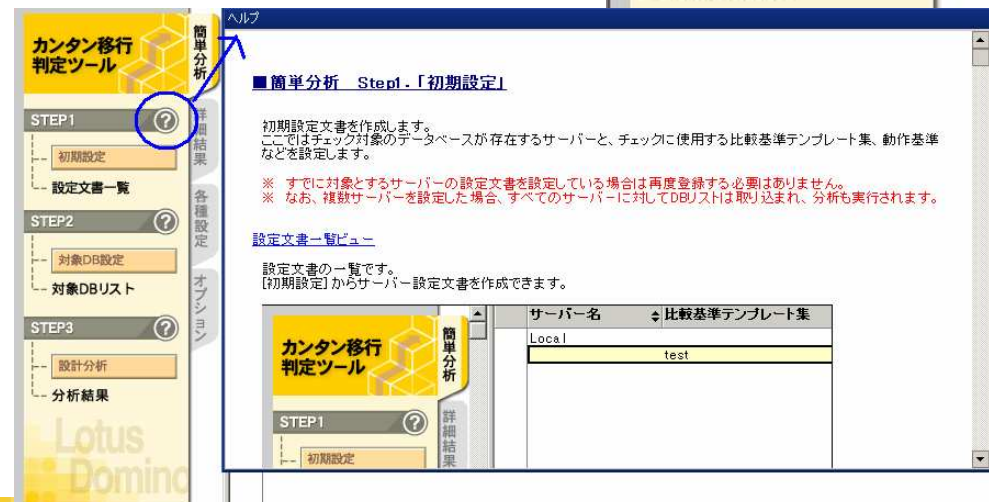


## 7.作業の流れに従って設計されたわかりやすいナビゲータ

- ナビゲータ上のハイライト部分を上から順にクリックしていくことで、「事前設定」から「設計分析の実行」、「実行結果の確認」までの一連の作業を実施可能

## 8. 充実したオンラインマニュアル

- 操作ステップごとのポップアップヘルプ
- 画面ショットによる丁寧な解説





IBM Software Group

# 3-4 カンタン移行判定ツールの利用上の注意

**Lotus** software

## カンタン移行判定ツールを利用する前に...

### ■ 稼働環境

- ▶ Lotus Notes クライアント 6.x/7.x/8.x のいずれでも動作可能

※Lotus Notes データベース(nsf ファイル)として提供

※サーバー上では使用できないため、Lotus Notes クライアントのローカルDBとして利用

- ▶ **他製品のインストールは不要**

### ■ カンタン移行判定ツールのDBサイズについて

- ▶ 初期サイズ:約 40MB ⇒初回「設計分析」後 ⇒ 約 300MB

- 設計分析の前処理として、全ての内蔵済み標準Notesテンプレート情報に対して、ビュー Index の構築が自動的に行なわれることに起因。また処理時間も数十分余計にかかる。

⇒ツール**使用開始前に、不要な「内蔵済み標準Notesテンプレート情報」文書を削除**することで、ツール**DBのサイズ削減、初回の処理時間の短縮**

⇒削除方法は？(次頁)

※例：現在ご利用中の Lotus Notes/Domino 環境が全て 6.5.x の場合は、6.x 7.xの情報  
は不要



## (参考) 不要な「内蔵済みLotus標準テンプレート情報」の削除方法

- ▶ あらかじめツールに内蔵済みの標準Notesテンプレート情報のうち、分析に使用しないバージョンの文書を削除することで、ツール自体のサイズを最適化することが可能です
  - **誤った削除の仕方をするとうツールが正常に動作しなくなる場合があります**ので、Lotus Notes について十分な知識(特に、文書の親子関係、ビュー索引の更新、削除スタブなどについて)を持っている方が作業することをお勧めします。
  - **万一正常に動作しなくなった場合は、ツールをメディアから復帰させてください**

### 不要なテンプレート情報の削除方法

1. カンタン移行判定ツール(KantanTool.nsf)を開き、【各種設定】タブの【対象テンプレート】-【設計情報】ビューをクリックし、カテゴリを全て展開します。(注)ビューの表示が完了するまでに時間がかかる場合があります。  
比較基準テンプレート集として使用するバージョンの文書は全て残し、それ以外の不要なバージョンの文書を全て削除します。
2. 次に、【対象テンプレート】-【メイン情報】ビューをクリックし、カテゴリを全て展開します。比較基準テンプレート集として使用するバージョンの文書は全て残し、それ以外の不要なバージョンの文書を全て削除します。
3. 【マスター】-【比較基準テンプレート集一覧】ビューをクリックし、カテゴリを全て展開します。比較基準テンプレート集として使用するバージョンの文書は全て残し、それ以外の不要なバージョンの文書を全て削除します。
4. ツールDBの【複製の設定】-【スペースセーバー】-【指定日数間に変更がない文書を削除する。指定日数】の日数として「0」を入力し(ただしチェックボックスにチェックはしないでください)、「OK」をクリックして閉じます。
5. ツールDBを開いた画面上で、Ctrl+Shift+F9 キーを押し、ビュー索引を更新します。  
(注)ビュー索引の更新が完了するまでに時間がかかる場合があります。
6. ツールDBを閉じ、DBのプロパティから【圧縮】を実行します。
7. 4.で変更した複製の設定を元に戻します。

## カンタン移行判定ツールによる「設計分析」時の注意(1)

- ツールDBサイズの増加
- H/W やネットワークへの負荷が高くなる場合がある
  - ▶ 全ての比較対象DBの全設計要素の情報を読み込み、一度に多数の文書がツールDB内に生成されるため

### ⇒ 推奨実行環境

- ① ツール本体, 比較対象DBともに、テスト環境またはクライアント・ローカルに配置してから分析処理を実行する
- ② ツール本体をクライアント・ローカルに配置し、サーバー上の比較対象DBの分析はサーバーの負荷が低い時間帯に処理する

### ⇒ DBサイズ増加への対策

- ▶ 比較基準テンプレート数を必要最低限に抑える
  - ツールによる分析結果は、総当り比較結果が全て文書としてツールDBに格納されるため



## カンタン移行判定ツールによる「設計分析」時の注意(2)

- 処理時間について
  - ▶ 実行環境の構成やH/Wスペック, 分析するテンプレートやDBの個数および含まれる設計要素の数によって異なる(数分~数十分)。ツール内のデータの不整合が発生する可能性があるため、分析処理を途中で中断することは推奨できない。
  - ⇒ 推奨: 多数のDBの分析を実行する場合は、事前に数個のDBで試行
- アクセス権
  - ▶ 比較対象DBに対して「設計者」以上のアクセス権が必要
- 実サーバー上のDBを直接分析する場合
  - カンタン移行判定ツールのほとんど全ての機能は“読み込み”であり、基本的に実環境に直接変更を及ぼさないが、“「設計を引き継ぐ」プロパティの設定”の機能(P20参照)を利用した場合のみ、ツールDB以外のリソース(設定対象のDB)に対して“書き込み”を行う
  - 分析結果は全て、ツールDB内(クライアント・ローカル)に格納されます
  - バックアップなどのためサーバーを夜間停止する運用を行なっている場合、ツールの分析処理中にサーバーが停止すると、正しい分析結果が得られない場合がある

## カンタン移行判定ツール v1.2 の新機能

※ v1.3での新機能はありません。

- ▶ 比較基準テンプレートとして、テンプレート(\*.NTF)だけでなくデータベース(\*.NSF)の設計も登録可能

比較基準テンプレート集	
データベースの機能概要 ⇒ [?]	
* 各項目について ⇒ [?]	
* カテゴリ	[?] 『自社開発アプリケーション』
* 比較基準テンプレート集	[?] 『テンプレート化未対応DB群』
* サーバー名	[?] 『Local』 テンプレートリスト取得
	※サーバー上のデータベース(*.nsf)およびテンプレート(*.ntf)の一覧を取得します。 ただし、ノートの制限として32KB以上(R4, R5では15KB以上)の情報を保持できないため、 "nsf", "ntf"などのキーワードにより、絞りこんで検索してください。
絞り込みワード	[?] 『nsf』 ※絞りこみ検索は上記サーバー名のData配下ファイルパスに対して検索されます。 ※カンマで区切ることで、複数キーワードによるAND検索が可能です。

- ▶ 設計プロパティの「更新時に再設計/設計の置換を禁止する」の設定値を取得可能
  - 「更新時に再設計/設計の置換を禁止する」が「有効」な設計要素の場合、標準Notesテンプレートと名前・サイズが一致していたとしても、設計の置換による移行完了とはならないため注意が必要

設計のプロパティ

■ 設計情報	
種類	[?] ビュー
名前	[?] すべての文書   (\$All)
別名	[?]
更新時に再設計/設計の置換を禁止する	[?] <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効

カンタン移行判定ツールで取得された設定値

## (参考)「DBの使用頻度」についての注意事項

- ▶ 【ユーザーの使用状況のアクセスの記録】有効化による、サーバーへの影響
  - DBプロパティで【ユーザーの使用状況のアクセスの記録】を有効にすると、サーバーの負荷が増加する
  - 実環境上で調査のためにあらたに多数のDBについて有効化する場合は、サーバーのパフォーマンスに影響を及ぼさないよう注意が必要
  - サーバーの負荷状況を見ながら有効にするDBを徐々に増やす、あるいは対象DBを少数のグループに分けて有効化し、一定期間測定したら無効にして代わりに別グループを有効化する、など必要に応じて工夫する
  
- ▶ 「DBの使用頻度」情報の保持
  - 比較対象DBを、テスト環境あるいはクライアント・ローカルに配置してから分析処理を実行する場合、「DBの使用頻度」情報を保持するためにはOSコピーを実施
  - Lotus Notesのメニューから“データベースのコピー”や“レプリカの作成”を行なった場合、「DBの使用頻度」情報はリセットされる

## (参考) その他の便利な使い方

- ▶ 「DBの使用頻度」情報のみ取得したい場合
  - DBの棚卸のために単に「DBの使用頻度別ビュー」が見られれば良いという場合(テンプレートとの比較結果を必要としない場合)、以下の方法により分析時間を短縮可能
    - ・ ダミーとして、非常にシンプルな設計(ビューが1つだけ、等)のテンプレートを1つ用意し、それを新規の比較基準テンプレート集として登録
    - ・ このダミーの比較基準テンプレート集と、各DBとの比較分析を実施
- ▶ 「DBの設計情報」のみ取得したい場合
  - テンプレートとの比較結果は必要ないが、DBの設計内容についての情報(設計要素の名前、サイズ、複雑度など)を取得したいという場合も、上記と同じ方法を実施



IBM Software Group

## 4. 移行チェックツール (NDACC)と移行 Hint & Tips 集

**Lotus** software



## 4-1. アプリケーションを移行する際の次なる悩み

アプリケーションを移行する際に修正が必要な関数を知りたいが情報が散乱している

数多くあるアプリケーションに対してひとつひとつを調べていくのは非常に時間がかかる

修正が必要な関数がわかって、それがどのアプリケーションのどの設計に書かれているのか把握できていない



**移行チェックツール(NDACC)と  
移行 Hint&Tips 集がご支援します！**



| IBM Software Group

## 4-2. 移行チェックツール(NDACC) と移行 Hint & Tips 集の概要とメリット

**Lotus** software

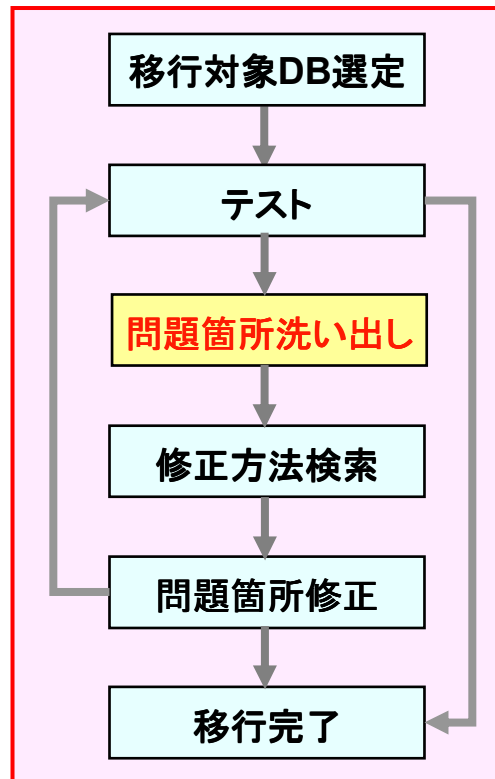
## 移行チェックツールの概要とメリット

### ▶ 概要

- NDACC (NDACC = Lotus Notes/Domino Application Code Checker)
- アプリケーション移行の際の「問題箇所洗い出し」作業を支援するツール
- 移行の対象となるデータベースの設計情報を自動的にチェックし、アプリケーション移行の際に問題が発生する可能性のある箇所 (@関数、スクリプトなど)を洗い出す

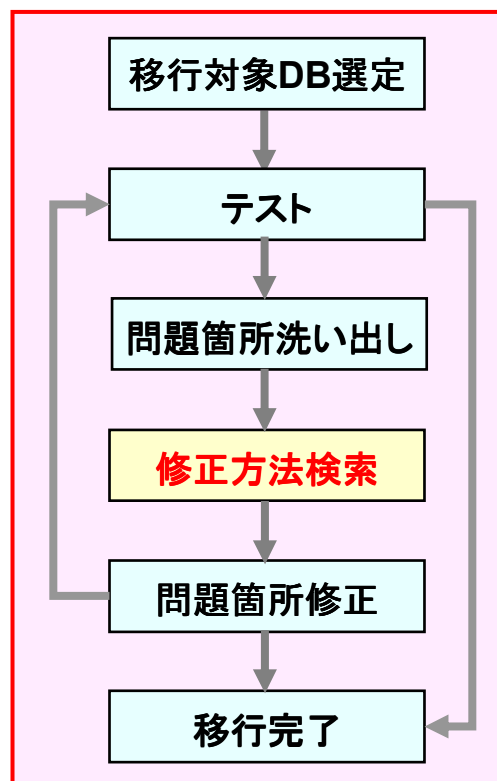
### ▶ 移行チェックツールのメリット

- 洗い出し作業を自動化することで作業時間を大幅に削減
- 手動で行なうと発生する可能性のあるチェック漏れをなくすことで、チェック結果の品質を高めることが可能



➔ 問題箇所洗い出し作業の生産性／品質の向上

## 移行 Hint & Tips 集の概要とメリット



### ▶ 移行 Hint & Tips 集の概要

(Lotus Notes/Domino アプリケーション移行 Hint & Tips 集)

- アプリケーション移行の際の考慮点や注意事項(仕様の差異情報、障害情報、回避策など)を文書としてまとめたもの
- 移行チェックツール(NDACC)との併用を考慮した作り

### ▶ 移行 Hint & Tips 集のメリット

- アプリケーション移行の際の Hint & Tips をひとつのデータベースとしてまとめて提供することにより、「**修正方法検索**」の作業負荷を軽減
- Lotus Notes/Domino 8.5 の障害情報と回避策を提供することにより、**トラブルを未然に防止**

「移行チェックツール」と「移行 Hint & Tips 集」とを併用することで、より効率的にアプリケーションの移行ができるようになります



IBM Software Group

## 4-3. 移行チェックツールと移行 Hint & Tips 集 の利用上の注意

**Lotus** software

## 稼動環境について

### ▶ 移行チェックツール(NDACC)の稼動環境

- ▶ Lotus Notes クライアント 6.x / 7.x / 8.x のほかに、Teamstudio Analyzer をインストールする必要がある

- ▶ Teamstudio Analyzer のライセンスの購入が必要

※移行チェックツールには同梱されておられません

(参考)チームスタジオジャパン株式会社様ホームページ

<http://www.teamstudio.com>

### ■ 移行 Hint & Tips 集の稼動環境

- ▶ Lotus Notes クライアント 6.x / 7.x / 8.x
  - Lotus Notes データベース(nsf ファイル)として提供
  - 他製品のインストールは不要

## 移行チェックツール(NDACC)利用時の注意点

- ディスク容量が増大する可能性
- H/W やネットワークへの負荷が高くなる可能性
  - ▶ チェックを実行すると、全ての対象DBについて Analyzer DB を新規作成し、全文索引の Index を作成してチェック項目のキーワード検索が行なわれ、チェック結果として一度に多数の文書がツールDB内に生成されるため
- ⇒ **推奨実行環境**
  - ▶ 移行チェックツール本体はクライアント上でしか稼動しないため、Lotus Notes クライアント・ローカルに配置する必要がある
  - ▶ チェック対象DBは、テスト環境あるいはクライアント・ローカルに配置するか、またはサーバー上に配置したままサーバー負荷が低い時間帯に処理するか、いずれかの構成で使用することを推奨
- 処理時間
  - ▶ 実行環境の構成やH/Wスペック, チェック項目やチェック対象DBの個数などによって異なる(数分～数時間)。チェック処理を途中で中断するのは、ツール内のデータの不整合が発生する可能性があり、推奨できない。
- ⇒ **推奨: 多数のDBの分析を実行する場合は、事前に数個のDBで試行**
- アクセス権
  - ▶ 比較対象DBに対して「設計者」以上のアクセス権 が必要



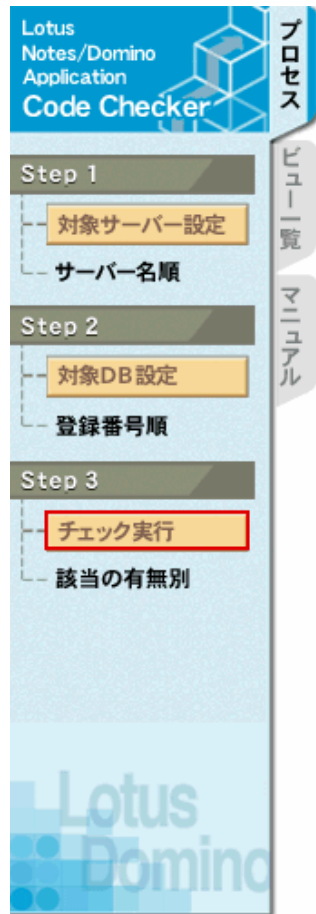
IBM Software Group

# (参考)移行チェックツール(NDACC)の画面イメージ

Lotus software



注： Lotus Notes/Domino 7 移行対応版 (v2.0) より、移行チェックツールのデザインを更新しました



▶ 移行チェックツール (NDACC) は Lotus Notes データベース (nsf ファイル) として提供されます

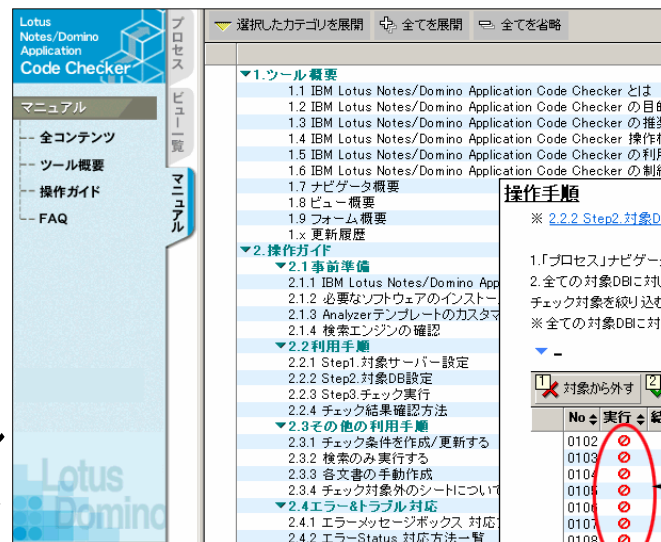


▶ 作業の流れに従って設計されたわかりやすいナビゲータ

- ナビゲータ上のハイライト部分を上から順にクリックしていくことで、「事前設定」から「チェック実行」、「実行結果の確認」までの一連の作業を行なえます

▶ 充実したオンラインマニュアル

- 操作ガイドからFAQまで
- 画面ショットによる丁寧な解説



**操作手順**

※ 2.2.2 Step2.対象DB設定 の項を完了させ、「対象DB設定文書」を作成し、その後以下の操作を実施して

1. 「プロセス」ナビゲータのタブから、「登録番号順」ボタンをクリックし、チェック対象の「対象DB設定文書」を
2. 全ての対象DBに対してチェックを行う場合は、3へ進んでください。

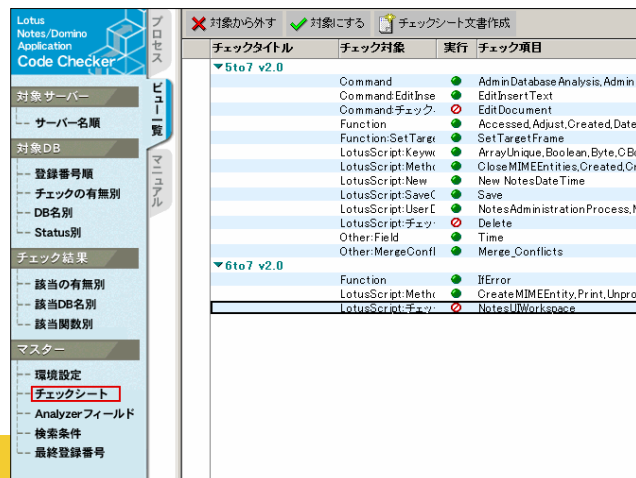
チェック対象を絞り込む場合は、外したい「対象DB設定文書」をビュー上で全て選択し、「対象から外す」ボタンをクリックしてください。

※ 全ての対象DBに対してチェック実行を行うと、全て処理を終えるまでに時間がかかることがあります。

No	実行	結果	対象DB名
0102	<input checked="" type="checkbox"/>	○	DB ライブラリ
0103	<input checked="" type="checkbox"/>	○	メールボックス (R4)
0104	<input checked="" type="checkbox"/>	○	ノーツ入門
0105	<input checked="" type="checkbox"/>	○	エージェントプロパ
0106	<input checked="" type="checkbox"/>	○	メール (R4.5)
0107	<input checked="" type="checkbox"/>	○	ノーツ R4 ヘルプガイド
0108	<input checked="" type="checkbox"/>	○	インターネットガイド
0109	<input checked="" type="checkbox"/>	○	R4.6.2a リリース情報
0110	<input checked="" type="checkbox"/>	○	ノーツ入門
0111	<input checked="" type="checkbox"/>	●	用語集
0112	<input checked="" type="checkbox"/>	●	ノーツ インストール
0113	<input checked="" type="checkbox"/>	●	ノーツグループ分析

注: 0102-0110は「対象から外す」(No)で、0111-0113は「対象にする」(Yes)で実行されている。

- ▶ 「チェックシート」は、移行チェックツールと共に提供されます
- 「チェックシート」とは、アプリケーション移行の際に修正が必要となる可能性のある項目をリストアップしたものです
- 主に @関数, @Command, Lotus Script における既知のチェック項目がリストされています
- 移行チェックツールは、チェックシートの各項目を検索キーワードとして各データベースの設計内容を全文検索し、式やLotus Script 内に、移行の際に修正が必要となるような @関数 / @Command や Lotus Script のプロパティ, メソッドなどが使用されていないかをチェックします
- NDACC v3.5 (8.5対応版) では、7, 8 Basic, 8 Standardから8.5 Basic, 8.5 Standardへの移行を対象としたチェックシートを提供しています。



チェックシート	
<input checked="" type="radio"/> チェック対象	<input type="radio"/> チェック対象外
タイトル: 5to7 v2.0	
対象	項目
Function	Accessed, Adjust, Created, Date, DocChildren, DocDescendants, DocSiblings, Modified, Narrow, Now, Responses, Tan, Text, TextToNumber, TextToTime, Today, Tomorrow, Trim, Wide, Yesterday

## ▶ チェック結果は、さまざまな視点から確認することができます

### 【該当の有無別 ビュー】

Lotus Notes/Domino Application Code Checker

▼ 選択したカテゴリを展開 全てを展開 全てを省略

対象DB名	合計	No
▼ 該当項目あり	14	
▼ 2006/01/13 14:01:06	14	
▼ Local	14	
▼ マーケティングの会議室		
Other:Field		
▶ マーケティングフォーラム		
▶ レストランガイド		
▼ 営業フォーラム		
Function		
LotusScript:Keyword		
LotusScript:Method/Property		
LotusScript:SaveConflicts		
Other:Field		
▼ 営業部ディスカッション		
Function		
LotusScript:Keyword		
LotusScript:Method/Property		
LotusScript:SaveConflicts		
Other:Field		
▶ 会議室予約		
▶ 各種ワークショップ		
▶ 休暇申請		
▶ 交通費申請		
▶ 資料保管箱		
▶ 人事資料室		
▶ 宣伝会議室		
▶ 全社掲示板		
▶ 第一期プロジェクト会議室		
▼ 該当項目なし		
▼ 2005/03/11 15:48:59		

対象サーバー  
-- サーバー名順

対象DB  
-- 登録番号順  
-- チェックの有無別  
-- DB名別  
-- Status別

チェック結果  
-- 該当の有無別  
-- 該当DB名別  
-- 該当関数別

マスター  
-- 環境設定  
-- チェックシート  
-- Analyzerフィールド  
-- 検索条件  
-- 最終登録番号

### 【該当の関数別 ビュー】

Lotus Notes/Domino Application Code Checker

▼ 選択したカテゴリを展開 全てを展開 全てを省略

対象DBタイトル	合計
▶ Command	1
▼ Function	61
▶ Adjust	4
▶ Created	7
▼ Date	8
マーケティングフォーラム	2006/0
営業フォーラム	2006/0
営業部ディスカッション	2006/0
会議室予約	2006/0
各種ワークショップ	2006/0
資料保管箱	2006/0
宣伝会議室	2006/0
第一期プロジェクト会議室	2006/0
▶ DocDescendants	4
▶ DocSiblings	1
▶ Modified	1
▶ Now	4
▶ Text	8
▶ TextToNumber	8
▶ TextToTime	4
▶ Today	4
▶ Tomorrow	1
▶ Trim	7
▶ Function:SetTargetFrame	2
▶ LotusScript:Keyword	45
▶ LotusScript:Method/Property	33
▶ LotusScript:New	3
▶ LotusScript:SaveConflicts	7
▶ Other:Field	13
▶ Other:MergeConflicts	1

## ▶ チェック結果文書の画面イメージ

### 【チェック結果文書】

Copyright (c) 2002-2004, IBM Japan, Ltd. All Rights Reserved.

Command

■ 該当項目

Analyzer DBフォルダリンク:

項目	件数
Compose	26
EditGoToField	2
Folder	5
OpenDocument	1

▶ データベース情報

▶ 作成情報

- ▶ DBごとに、どのチェック項目が何件含まれていたかを確認できます

### 【Analyzer DB の画面イメージ】

Result: アイコン一覧

すべての文書

JavaScript/HTML

Java

R4to6 v1.4

Command

Compose

EditGoToField

Folder

OpenDocument

Command:OpenNavig

Function

Function:Name([Canc

LotusScript:Keyword

LotusScript:Method/F

LotusScript:New

LotusScript:SaveCont

Other:Field

Other:MergeConflicts

X-Ref

スクリプト

データベース別設計要素

署名別オブジェクト

名前別オブジェクト

▼ 選択したカテゴリを展開

☰ 全てを展開

☰ 全てを省略

3 ▼ アイコン一覧

1 ▼ ナビゲータ

1 ▼ メイン

5 ▼ ホットスポット

1. 式

2. 式

3. 式

9. 式

11. 式

3 ▼ ビュー

2 ▼ Document

1 ▼ By Category

1 ▼ アクション

★ 文書作成

1 ▼ By Status

1 ▼ アクション

★ 文書作成

7 ▼ TEST

1 ▼ アイコン1

2 ▼ アクション

- ▶ フォルダリンクをクリックすると Teamstudio Analyzer による出力結果DBが開き、該当チェック項目が含まれている設計要素を特定するなど、詳細な情報を得ることができます

## ▶ チェックシートは、独自に作成することもできます

### 【応用例】

- ・ 移行と同時にサーバーの統廃合も行なう予定で、Lotus Domino サーバーの名前が変更されることになっている
- したがって各アプリケーションDBを検索し、エージェントの実行サーバー名の部分や、@関数や Lotus Script など旧サーバー名をコーディングしている部分があれば、新サーバー名に修正する必要がある
- ▶ 旧サーバー名を登録したチェックシートを新規作成し、チェックを実行します  
チェックの結果、該当したDBがあれば該当箇所を修正します

### チェックシート

チェック対象     チェック対象外

タイトル: **廃止されるサーバーの名前**

対象	項目
Function	Server_001/IBM, Server_002/IBM, Server_003/IBM

▶ 作成/更新 情報

## ▶ NDACC v1.6/v2.0 より、「チェック必要性低 & ヒット可能性高」 チェックシートをご用意しました

- 非互換項目の中には、以下のようにチェックの必要性が低いものがあります
  - ・ ある特定の条件下（例：デバッグ使用時など）でのみ発生するなど非常に限定的なもの
  - ・ 移行後、非互換の現象が発生したとしても重要度や影響度があまり高くないと考えられるもの（例：バージョンによって、エラーメッセージの文言が異なるなど）
- このような項目のうち、一般的によく利用される設計要素のためにチェックを行なうと大量にヒットする可能性が高いと考えられる項目を、「チェック必要性低 & ヒット可能性高」チェックシートとして、他の項目とは分けてをご用意しました
- 「チェック必要性低 & ヒット可能性高」チェックシートは、デフォルトステータスが“チェック対象外”となっていますので、必要に応じて“チェック対象”に変更してください

チェックシート

チェック対象     チェック対象外

タイトル: 5to7 v2.0

対象	項目
Command: チェック必要性低 & ヒット可能性高	Edit Document

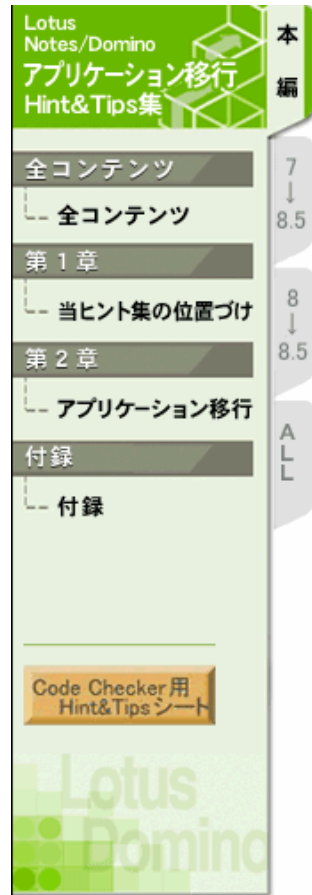


IBM Software Group

# (参考)移行 Hint & Tips 集の画面イメージ

**Lotus** software





▶ 移行 Hint & Tips 集は Lotus Notes データベース (nsf ファイル) として提供されます



▶ 必要な情報にアクセスしやすいよう設計されたわかりやすいナビゲータ

【Code Checker 用 Hint&Tips シート】		8.5 (St)	8.5 (Ba)	No.	合計
▶	7to8.5				81
▼	8to8.5				67
▼	LotusScript				6
	Compose Document メソッド	◆	◆	L2-35	8 (Standard版)/8.5
	Edit Document メソッド	◆	◆	L2-51	8.5では、Terminat
	GetNextDocument メソッド	◆	◆	L2-52	8.5では、カテゴリの
	GetRead メソッド	◆	◆	L2-14	7/8で、8.5から新加
	NotesViewEntryCollection クラス	◆	◆	L2-50	全てのバージョンで
	ReloadWindow メソッド	◆	◆	L2-53	8.5では、フレームI:
▼	@Command				54
	@Command([Agent Edit])	◆	◆	C2-35	8.5 (Standard版)で
	@Command([Create Agent])	◆	◆	C2-38	8.5 (Standard版)で
	@Command([Create Form])	◆	◆	C2-34	8.5 (Standard版)で
	@Command([Create Navigator])	◆	◆	C2-34	8.5 (Standard版)で
	@Command([Create SubForm])	◆	◆	C2-34	8.5 (Standard版)で
	@Command([Design Forms])	◆	◆	C2-36	8.5 (Standard版)で
	@Command([Design Help About Document])	◆	◆	C2-39	8.5 (Standard版)で
	@Command([Design Help Using Document])	◆	◆	C2-39	8.5 (Standard版)で
	@Command([Design Icon])	◆	◆	C2-39	8.5 (Standard版)で
	@Command([Design Macros])	◆	◆	C2-36	8.5 (Standard版)で
	@Command([Design Shared Fields])	◆	◆	C2-36	8.5 (Standard版)で
	@Command([Design Views])	◆	◆	C2-36	8.5 (Standard版)で
	@Command([Dialing Rules])	◆	◆	C2-31	8.5では、@Comma
	@Command([Edit Insert Object])	◆	◆	C2-37	7/8 (Basic版)/8.5
	@Command([Edit Locations])	◆	◆	C2-46	8 (Standard版)/8.5

▶ NDACCとの併用を考慮

- NDACCでのチェック結果を容易に確認可能

# ▶ Hint & Tips集の情報はさまざまな視点から確認することができます

- 移行元バージョン別
- カテゴリ別 (LotusScript 関連か、@関数 関連かなど)

■ 影響度別 (大・中・小)

関数	8.5(St)	8.5(Ba)	合計
LotusScript			17
@Command			60
@関数			2
@MailSend	◆	◆	7/8と8.5では、@MailSend関数でエラーが発生
@URLOpen	◆	◆	7/8ではLotus Notes URLコマンドの?EditDc
その他			
Open Databaseメソッド			
@Command([FileOpenDatabase])			
@Command([FileOpenDBRepID])			
@Command([MailOpen])			
@Command([OpenCalendar])			
@RegQueryValue			
アクションボタン			
デザイナー			
ビューアイコン			
ビューの表示			
ビューの列			
制限事項			
埋め込みビュー			

関数	8.5(St)	8.5(Ba)	合計
大			2
LotusScript			2
getNextDocumentメソッド	◆	◆	8.5では、カテゴリのあるビューでNotesViewメソッド実行後、getNextDocumentを実行するだけでは、正常に動作する。
NotesViewEntryCollectionクラス	◆		全てのバージョンで、ビューの列で複数値にしている場合、NotesViewEntryCollection(Standard版)/8.5(Standard版)と7/8(Basic)異なる。
中			40
小			50
			92

## ▶ Hint & Tips集で提供される技術文書の画面イメージ

Copyright (c) 2002-2009, IBM Japan, Ltd. All Rights Reserved.

アプリケーション移行時の考慮点/注意点

8.5では、カテゴリのあるビューでNotesViewNavigatorクラスのGetFirstメソッド実行後、GetNextDocumentを実行すると戻り値がNothingになる。7/8では、正常に動作する。

<b>No.</b>	L2-52	<b>KB Document#</b>	-
<b>カテゴリ</b>	LotusScript	<b>発生頻度</b>	普通
<b>対象</b>	GetNextDocumentメソッド	<b>影響度</b>	大
<b>移行パス</b>	7 ⇒ 8.5 (Basic版) 7 ⇒ 8.5 (Standard版) 8 (Basic版) ⇒ 8.5 (Basic版) 8 (Basic版) ⇒ 8.5 (Standard版) 8 (Standard版) ⇒ 8.5 (Basic版) 8 (Standard版) ⇒ 8.5 (Standard版)	<b>8.5 確認結果</b>	エラー発生

**[内容]**

- 8.5では、カテゴリのあるビューで、NotesViewNavigatorクラスのGetFirstメソッド実行後、GetNextDocumentを実行するとNotesViewEntryオブジェクトがNothingになる。
- 7/8では、正常に動作する。

**[8.5の回避策]**

NotesViewNavFromCategoryメソッドを使用し、一つのカテゴリごとにNotesViewNavigatorオブジェクトを作成する。

▶ [修正サンプル](#)

### ▶ カテゴリによる分類

- @関数 / @Command / Lotus Script / その他

### ▶ 影響度を表示

- 大 / 中 / 小

### ▶ 「内容」「現象」「再現方法」「回避策」

- 7、8、8.5 各バージョンでの動作概要や画面ショット、回避策などを丁寧に解説
- Helpなどの各種情報源から単に情報収集だけでなく、実プロジェクトでの経験やテスト環境でのテスト結果なども適宜盛り込まれています

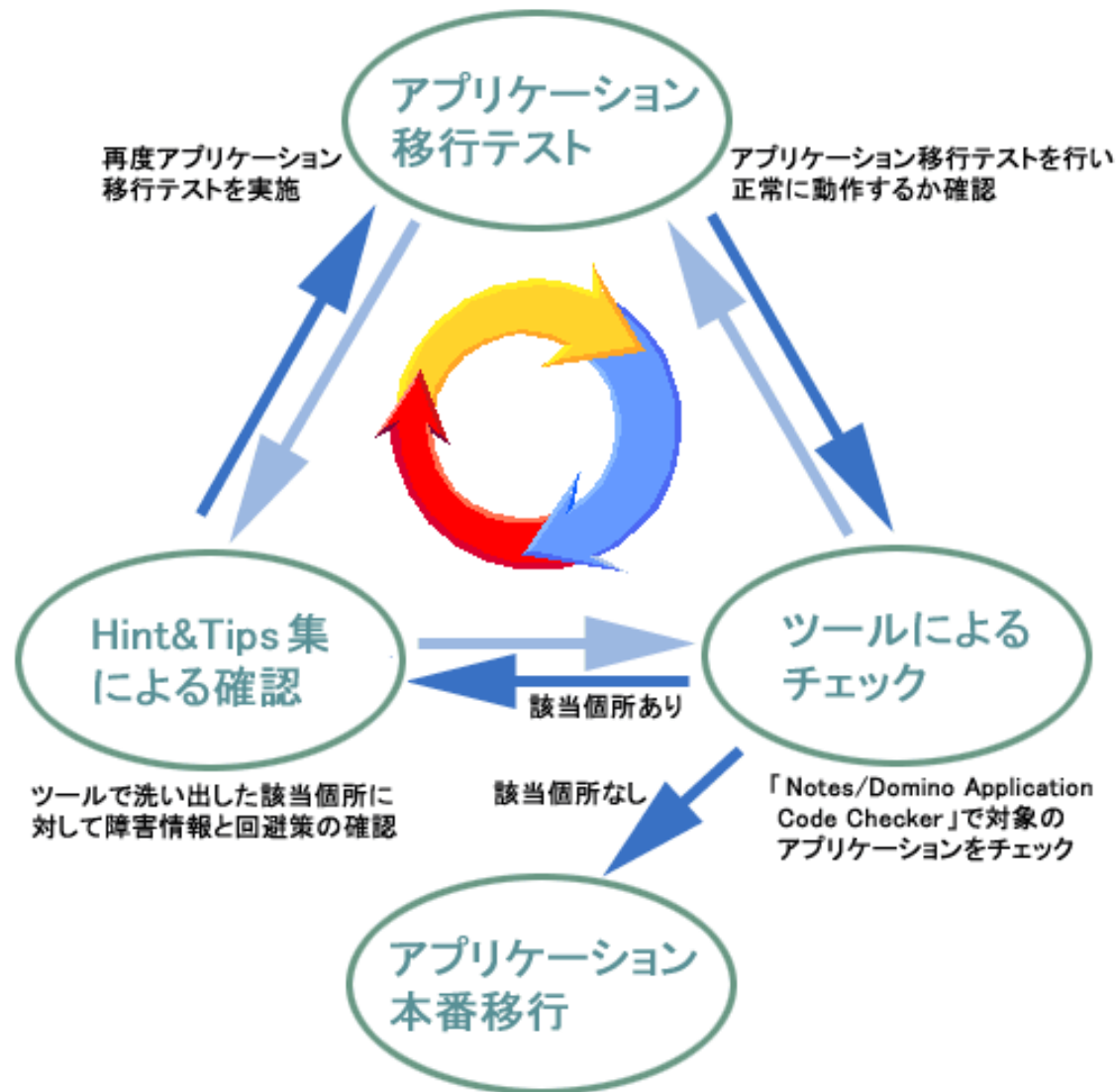


IBM Software Group

## 4-4. 推奨利用サイクル

**Lotus** software

## 「移行チェックツール」と「移行Hint & Tips集」の推奨利用サイクル



左記のサイクルで「移行チェックツール」と「移行Hint & Tips集」を活用いただくことにより、効率よくアプリケーション移行作業が行えます

- 「アプリケーション移行テスト」、「ツールによるチェック」、「Hint&Tips集による確認」のどこからでもアクションを開始する事は可能ですが、必ず3つ全てのアクションを実施してから「アプリケーション本番移行」へ移るようにしてください
- 「移行チェックツール」でチェックした結果「該当箇所なし」となった場合でも、本番移行する前には必ず新バージョンでの稼働確認テストを行うようにしてください
- 移行テストは、データベースに修正を加えた後などにも、繰り返し行うことをお勧めします



IBM Software Group

## 5. ツール群の入手方法

**Lotus** software



## 6. ツール群の入手方法

### ▶ カンタン移行判定ツール

- ▶ 弊社「ノーツアップグレード支援サイト」よりお申込みいただいたお客様、ビジネスパートナー様へ無償にてご提供させていただきます

ノーツアップグレード支援サイト

<http://www.ibm.com/jp/software/lotus/reactive/tool.html>

### ▶ 移行チェックツール(NDACC)、及び移行Hint&Tips集

- ▶ ノーツコンソーシアム様の案内をご参照ください

(注：NDACC＋移行Hint&Tips集のメディアにも、カンタン移行判定ツールが同梱されています)

ノーツコンソーシアム様 Webサイト

<http://www.notescons.gr.jp>

※ NDACC をご利用の場合、Teamstudio Analyzer を別途ご購入いただく必要があります

チームスタジオジャパン株式会社様ホームページ

<http://www.teamstudio.com/jp/index.html>



IBM Software Group

# 参考. 事例ご紹介

**Lotus** software



## 「移行チェックツール」「移行Hint & Tips集」のご利用事例

### ▶ 第一生命保険相互会社様

- <http://www.ibm.com/jp/solutions/casestudies/20040412daiichihoken.html>
- R4.6 から 6 へのバージョンアップ
- 「移行チェックツール」と「移行Hint & Tips集」を利用して、200個に及ぶ最重要アプリケーションの移行を完了

### ▶ 金融会社様

- 移行チェックツールの利用により、DBあたりの修正箇所の洗い出し時間  
140分(設計要素洗い出し時間) × チェック項目数 を削減
- 移行 Hint & Tips 集の利用により、情報収集および動作確認にかかる工数  
平均24人月のワークロード 削減

### ▶ その他、すでに200社以上のお客様にてご利用・評価いただいています

「移行チェックツール」および「移行Hint & Tips集」は、2002年10月よりご提供しています。  
「カンタン移行判定ツール」は、2005年3月よりご提供しています。

## (参考)バージョン別の非互換情報件数

移行Hint&Tips集に記載している既知の非互換情報件数(影響度別)

移行パス	影響度別非互換数			
	大	中	小	合計
R4から6	74	207	39	320
R5から6	64	169	28	261
R5から7	55	150	30	235
6から8(Standard版)	5	50	27	82
6から8(Basic版)	0	22	20	42
7から8(Standard版)	5	45	17	67
7から8(Basic版)	0	17	9	26
7から8.5(Basic版)	1	11	6	18
7から8.5(Standard版)	2	31	40	73
8(Basic版)から8.5(Basic版)	1	10	7	18
8(Basic版)から8.5(Standard版)	2	31	42	75
8(Standard版)から8.5(Basic版)	2	31	28	61
8(Standard版)から8.5(Standard版)	1	12	29	42

最後に...

移行支援ツール群をご活用いただき、  
Lotus Notes/Domino の新しい世界へ  
ご移行ください

